

大昔の生き物の姿や足跡が地層の中に残されたものが化石です。県内にも約4000万～2000万年前頃の化石が産出し、当時の環境などを教えてください。

□県内で産出した化石

カプトガニの足跡（レプリカ）



(佐賀県立宇宙科学館 蔵)

20～30cmの間隔でついたカプトガニの足跡。この化石は約4000万年前頃のものです。足跡の横に、カプトガニの尾剣（しっぽ）の跡も見られます。

産地：武雄市東川登町 北永野採石場

アミノドン

約4000万年前頃に生息していたサイの一種です。水辺に生息していたことが分かっています。化石は、北海道雨竜炭田、山口県宇部炭田、佐賀県唐津炭田などから産出されています。



(佐賀県立宇宙科学館 蔵)

大型アミノドンの右顎の骨の一部（レプリカ）

産地：伊万里市大川町 立川炭鉱坑内



(不動寺康弘氏 提供)

アミノドンの歯の一部

産地：唐津市北波多 平野峠

ナウマンゾウ

約40万年前に大陸から渡ってきて2万年前までの氷期に生息していたと言われるゾウの一種です。日本列島の広い範囲で化石が産出されています。



(佐賀県立宇宙科学館 蔵)

ナウマンゾウの左下第2大臼歯

産地：唐津市呼子町 烏帽子島沖の海底

ペンギンモドキ



(不動寺康弘氏 提供)

ペンギンモドキの大腿骨（太ももの骨）

産地：東松浦郡玄海町座川内

約3500万年前に北部太平洋などに生息し、海の中で小魚などをとって食べていました。北海道、福岡県、佐賀県（多久市、伊万里市、唐津市、玄海町）などで化石が見つかっています。

ポイント
ペンギンモドキは、最新の研究によると、脳の仲間の可能性が考えられています。

□生きている化石

化石で発見された太古の形態と変わらず、今も同じ姿で存在する生物は「生きている化石」と呼ばれています。

ムカシトンボ



(吉田善美明氏 提供)

約2億～1億5000万年前に堆積した地層から産出したトンボの化石とほぼ同じ外部形態をし、止まる時に翅を閉じて枝にぶら下がります。脊振山地や多良山系の源流域に生息し、成虫は4月下旬～6月上旬に出現。成虫になるまで7年を要します。日本特産種。

ミドリシャミセンガイ



(やながわ有明海水族館 提供)

約5億年前に出現し、現在まで形や大きさは同じです。現在、有明海以外では絶滅したか激減しました。貝の仲間ではありません。有明海沿岸では「めかじゃ」と呼び、古くから煮つけて食べていました。

カプトガニ（左：メス、右：オス）



(佐賀県立宇宙科学館 蔵)

約2億年前に堆積した地層から産出した化石とほぼ同じ外部形態をしています。カニの仲間ではなく、クモの仲間の動物で、伊万里湾にあるカプトガニ繁殖地は天然記念物として保護されています。

□佐賀県の地名などがつけられた化石

現在も各地でさまざまな化石が発見されています。新種の化石には、産出した場所や人の名前がつけられることがあります。



カラツチヨウチンガイ

産地：唐津市相知町佐里

(不動寺康弘氏 提供)



ヨコヤマオウムガイ

産地：唐津市北波多禰田

(佐賀県立宇宙科学館 蔵)



キシマトリガイ

産地：唐津市北波多下平野

(不動寺康弘氏 提供)

見どころスポット

佐賀県立宇宙科学館

住所：武雄市武雄町永島 16351

電話：0954-20-1666

開館時間：【平日（火～金）】

9時15分～17時15分

【土・日・祝】9時15分～18時

休館：毎週月曜日（祝日の場合、翌日）

料金：大人510円、高校生300円、

小・中学生200円、幼児（4歳以上）100円

